

第2期越前市都市計画マスタープラン策定骨子（案）

第2期都市計画マスタープランについて

【第2期計画策定の目的】

- ・北陸新幹線の開業に伴う都市構造の変化に対応

【目標年度】

- ・概ね20年後の都市の姿を展望し、2040年度(令和22年度)と設定

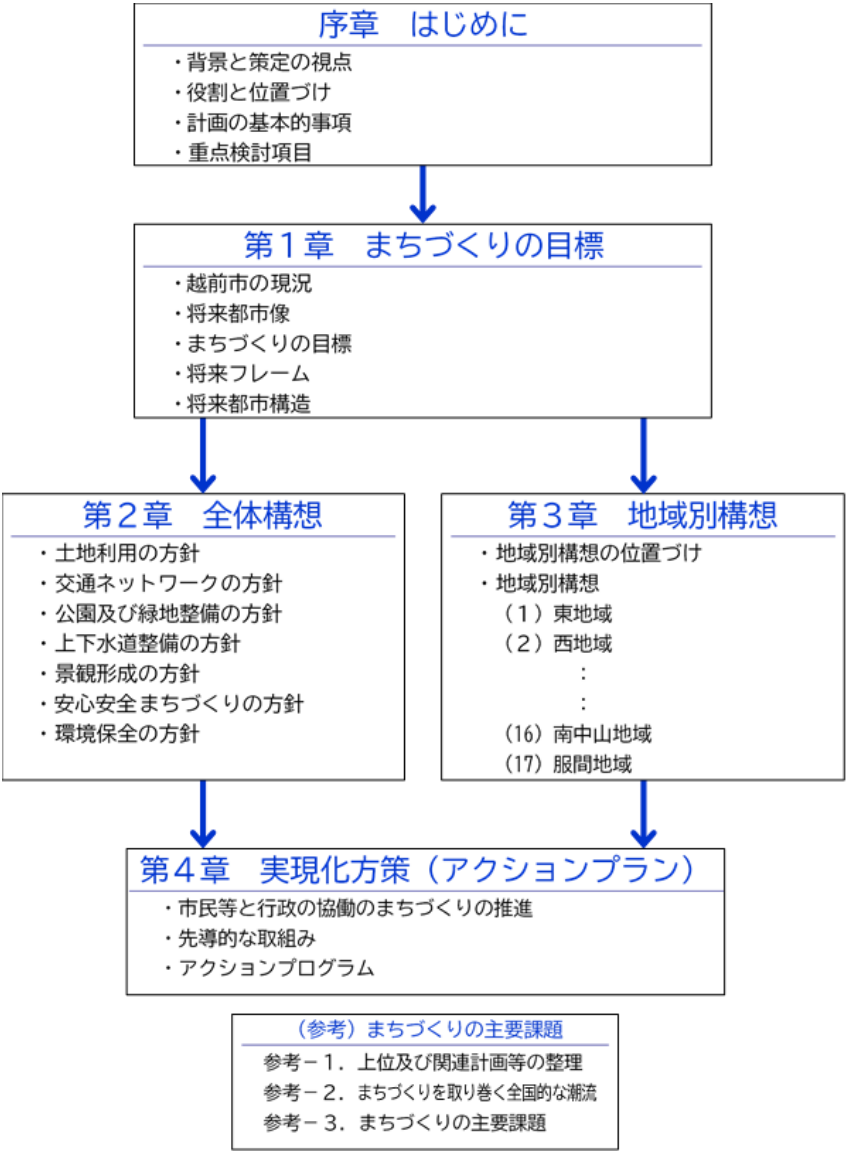
【位置付け】

- ・都市計画法に定められた「市町村の都市計画に関する基本的な方針」

【役割】

- ・実現すべき具体的な都市の将来像を明らかにする
- ・具体的な都市計画の決定・変更の指針となる
- ・個別の都市計画や上位・関連計画との相互調整を図る
- ・市民、事業者、行政の共通の目標となる

【計画の体系】



主な都市の変化

【都市計画道路の整備】



戸谷片屋線（H25.8全線開業）



河渚線（H30.9深草1丁目～2丁目間開業）



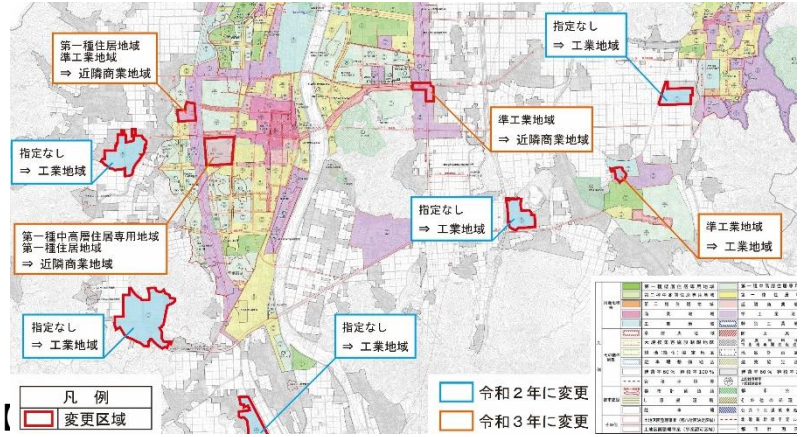
越前たけふ駅線（R5.3開業）

【都市計画公園の再整備】



武生中央公園（R4.9リニューアル）

【用途地域の見直し】



・汚物処理場・下水道の変更、ごみ焼却場の廃止、その他処理施設の整備

【越前たけふ駅周辺】



平成30年10月 特定用途制限地域の決定
令和2年3月 南越駅周辺まちづくり計画の策定
令和3年3月 新幹線駅周辺まちづくりガイドライン策定
脱炭素型地域循環共生圏モデル形成調査
特定用途制限地域の廃止
4月 新幹線新駅周辺地区地区計画の決定

社会情勢の変化

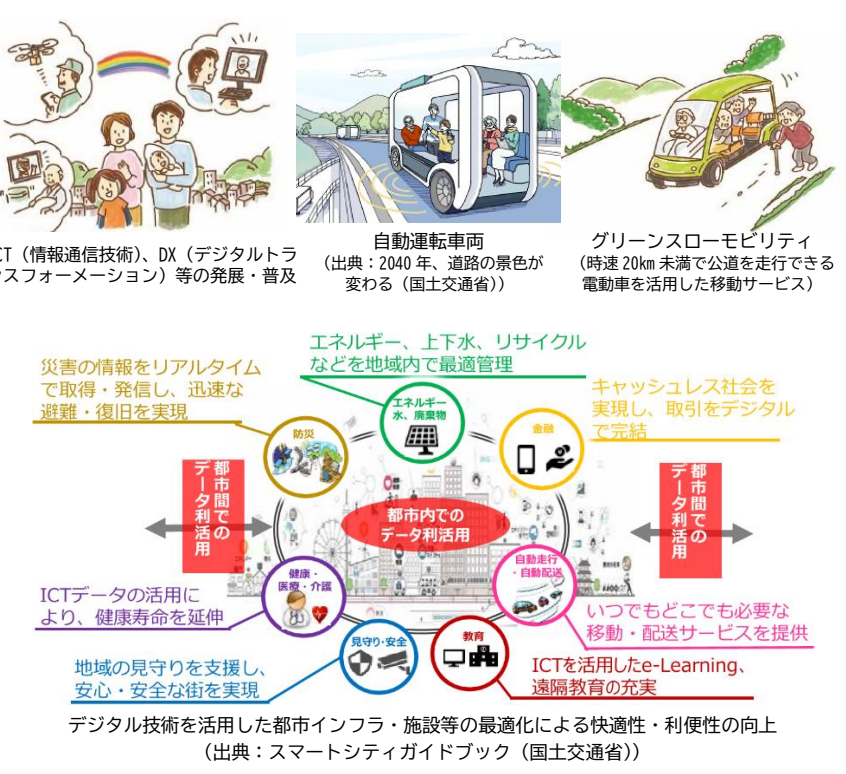
【地球規模の環境変化】



【市内交通網の整備】



【技術の進歩による生活の変化】



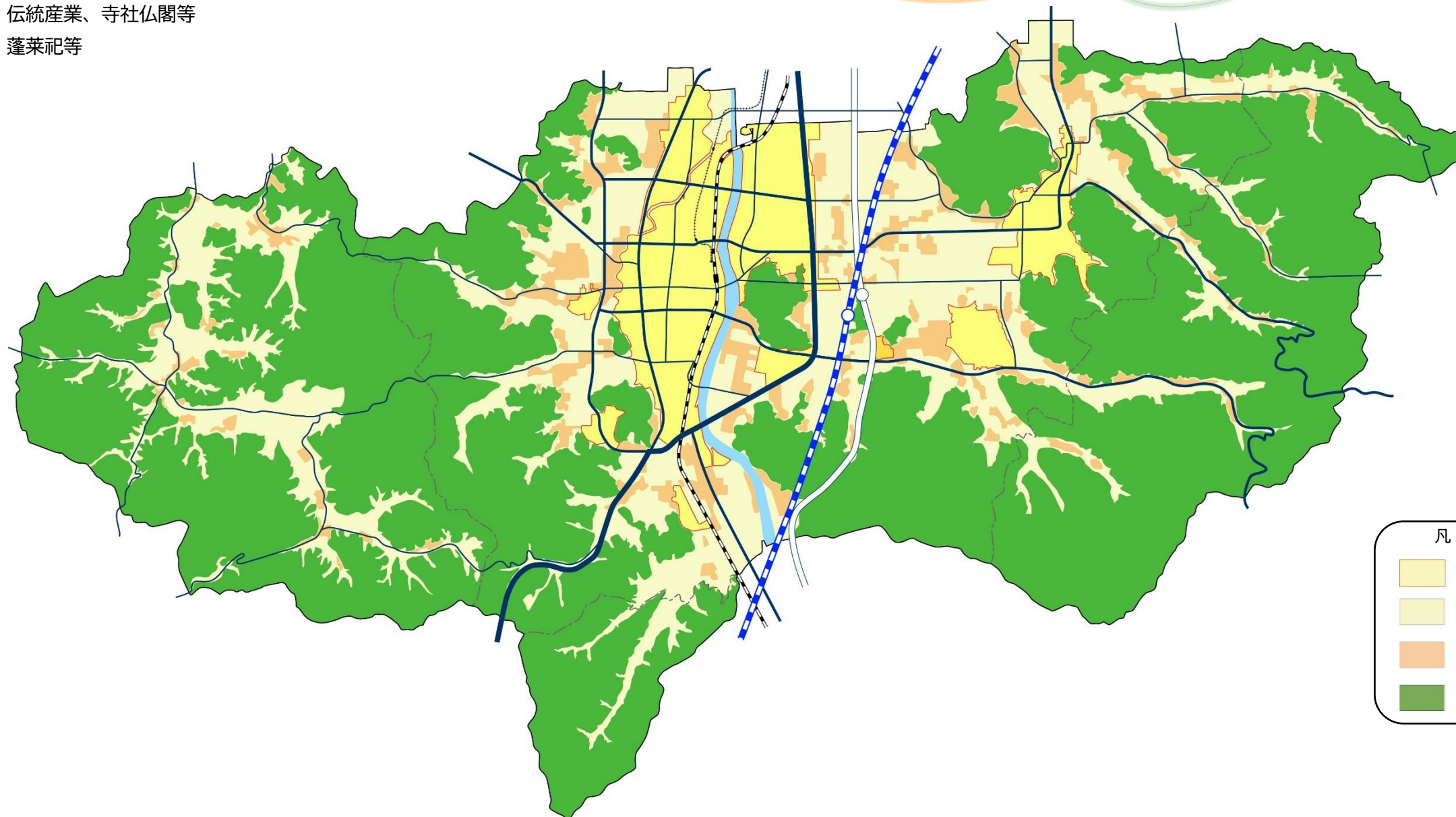
都市と自然のバランスがよいまち

各種都市機能が集積する中心市街地や新たに開発された近郊、郊外の住宅地等と、豊かな自然環境に恵まれた里地・里山や中山間地が身近にあり、生活利便性の高い都市と自然とが調和し、多様な暮らし方ができる

- 自然・・・日野山、村国山、三里山、鬼ヶ岳、愛宕山、武衛山、岩内山、権現山、日野川、吉野瀬川、鞍谷川、浅水川、田園等
- まちなみ・・・四町、京町、総社通り、五箇地区、北府地区(緑化協定)、八幡地区(緑化協定)等
- 歴史文化・・・越前国府、伝統産業、寺社仏閣等
- 伝統行事・・・越前万歳、蓬萊祀等

日野川河川緑地

- ・越前市の都市と自然のバランスを端的に表現
- ・子どもたちの原風景になる場所



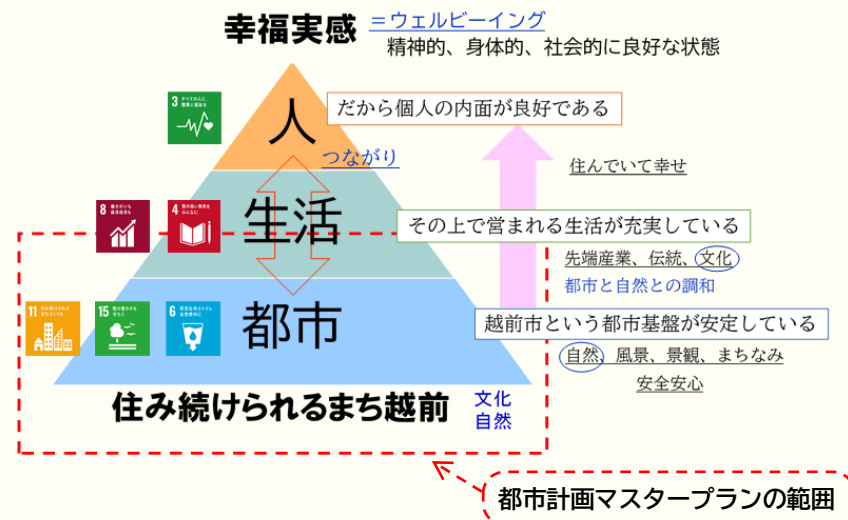
〔土地利用現況図〕

【まちづくりのテーマ】

住み続けられるまち 越前 ～文化・自然～

優れた自然・風景、歴史・文化、伝統産業、景観・まちなみ等に
 培われた**魅力ある越前市**で、住んでいて**幸せを感じ**、これからも
暮らしていこうと思える幸せなまちを目指す

- ・人は、**生活**を越前市という**都市**の上で営んでいる
- ・人が幸せを感じるためには、**生活**が充実しており、
 基盤となる**都市**が安定している必要がある



「住み続けられるまち 越前」の実現に向けて
 持続可能な都市形態の具体化

【まちづくりの方向性】

まちの継承と順応

越前市を構成する17地域(地区)を住み続けられるまちにしてい

- ・これまで培ってきた各地域の“らしさ”を未来に伝える
「個性の継承」
- ・複雑化、多様化する社会課題等にしなやかに対応する
「時代への順応」

人口減少時代であっても、各地域が育んできた文化や自然を未
 来に伝え、また、変化する社会情勢に柔軟に対応することで、
 住み続けられるまちを実現

中心拠点（本庁舎周辺）

越前国府が置かれた地としてとして栄え、現在
 では、商業・医療・金融等の都市機能増進施設や公
 共交通等の社会資本が整備されている

これからの取り組みとして、まちなかストック※
 の活用を促進し、にぎわいの創出やまちなか居住
 の推進、地域交通ネットワークの形成等を図る

※社会資本、空き家、空き店舗、空き地

広域交通拠点（越前たけふ駅周辺）

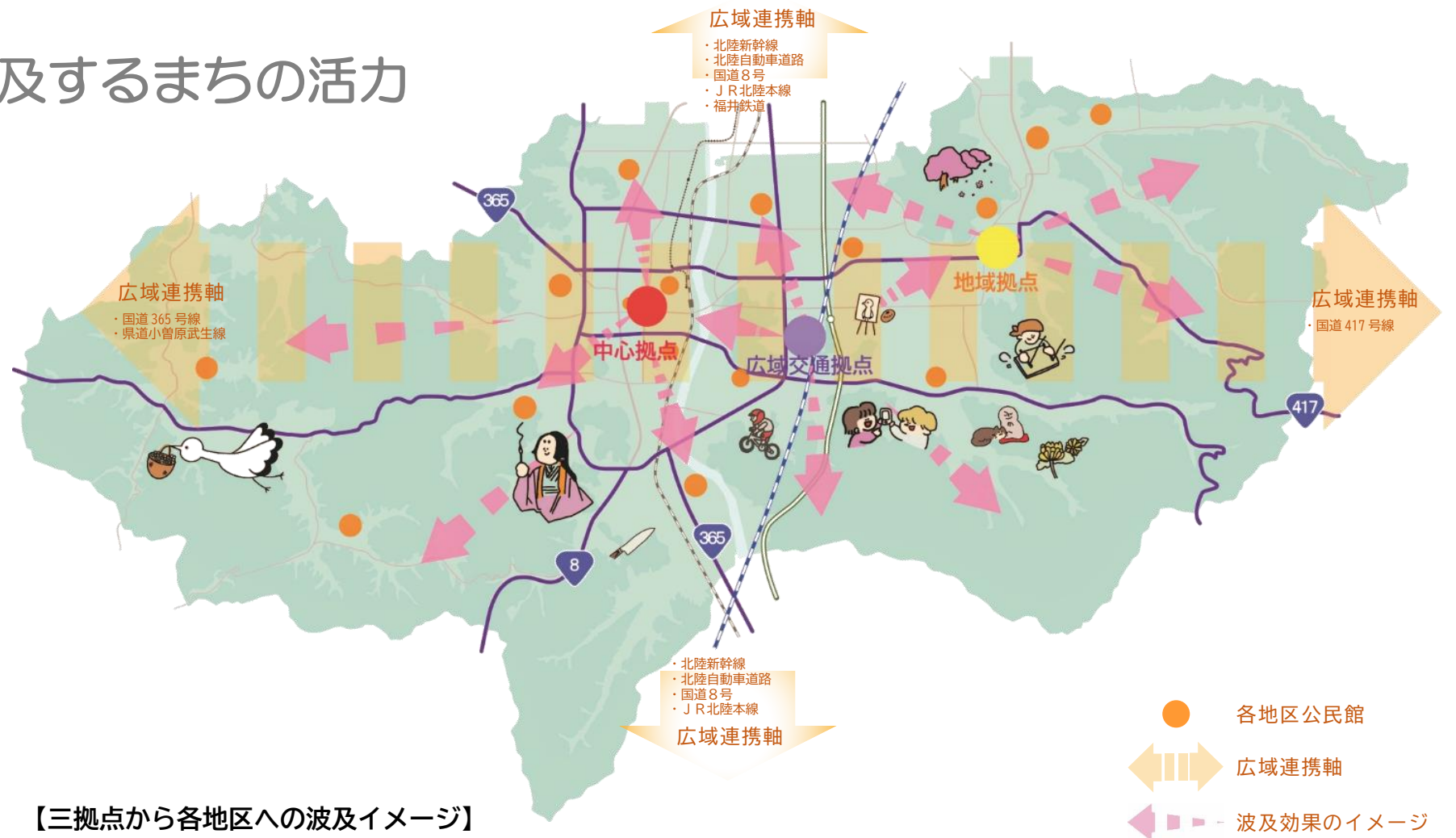
越前たけふ駅、武生インターチェ
 ンジ、国道8号が近接する交通結節
 点である特徴を活かして、企業・人材
 が集う先端産業研究施設や賑わいを
 創出する商業施設、農地と共存する
 食と農の関連施設、物流施設等を誘
 致し、都市活力の創出を図る

地域拠点（あいぱーく今立周辺）

継体伝承の残る花筐公園や伝統工芸の越前和紙等の地域
 固有の歴史的・文化的資源が豊富で、趣のあるまちなみが
 残っている

これからの取り組みとして、大瀧神社や和紙工房、紙の
 文化博物館、越前市和紙の里美術館等、歴史文化を楽しめ
 るウォカブルな和紙の里の構築や越前鳥の子紙研修場の
 整備等、まちなか今立の文化と伝統の継承を図る

波及するまちの活力

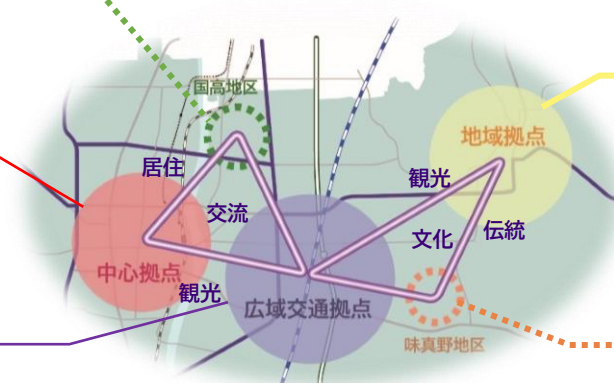


【三拠点から各地区への波及イメージ】

交通利便性を活かし、子育て世代を中
 心とした新たな宅地需要のストック
 として機能

観光客の周遊や宿泊、ビ
 ジネスにおける居住の
 ストックとして機能

市内外からの人流の玄関口と
 なり、様々な交流が生まれ、新
 たな産業と新たな事業が生み
 出される



越前和紙、五箇地区のまちな
 み、花筐公園等、伝統や歴史文
 化、美しい自然を感じる観光
 資源を有するエリア

越前打刀物、万葉の里味真野苑
 等伝統や歴史文化、美しい自然
 を感じる観光資源を有するエ
 リア

都市計画マスタープランの重点検討項目

重点検討項目 2. 将来都市像に基づく土地利用方針

➡ 用途地域の指定方針・指定基準の見直し

【指定方針・指定基準の見直しの必要性】

- ・第2期都市計画マスタープランによる土地利用方針の見直し
- ・北陸新幹線越前たけふ駅開業に伴う都市構造の変化
- ・立地適正化計画に基づく居住・都市機能の誘導の促進

第2期都市計画マスタープランの目指す「まちの維持」に向けて、土地利用の動向や今後の見通し、計画的な誘導方針を踏まえた、**新たな指定方針・指定基準に基づく用途地域の見直しを検討**

重点検討項目 3. 土地利用方針と都市防災の整合

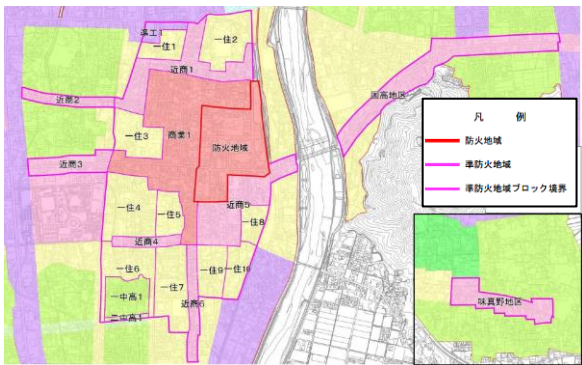
➡ 防火・準防火地域の指定方針の検討

【指定方針・指定基準の必要性】

- ・現在の指定範囲は住居系・工業系用途地域を含み、県内他都市よりも広範囲に設定
- ・今立市街地は防火・準防火地域が未指定
- ・防災に関する市民の意識・関心の高まり

市街地における火災発生時の延焼を防止し、市民の生命・財産を守るため、**明確な基準に基づく防火・準防火地域の見直しを検討**

防火地域・準防火地域をブロック分けし、建築物の現況、道路の整備状況等について整理し、指定方針、指定基準に反映する予定



重点検討項目 4. 将来都市像と道路網の整合

➡ 都市計画道路の見直し方針

【都市計画道路の見直しの必要性】

- ・長期未着手の都市計画道路が存在
- ・社会経済情勢の変化や周辺道路整備進捗等による計画決定当初の必要性の変化
- ・建築制限による地権者への負担増
- ・計画的なまちづくりの推進への影響
- ・選択と集中による限られた財源の有効活用

長期未着手都市計画道路について、**福井県都市計画道路見直しガイドライン**による、明確で客観的な基準、評価に基づく見直しを検討

全体構想（案）

1. 土地利用の方針

調和した都市と自然のバランスを継承

- ・将来都市像に基づく土地利用方針（重点検討項目2）
- ・用途地域の指定方針と指定基準の見直し
- ・無秩序な開発の抑制
- ・優良な農地や良好な自然環境の保全
- ・越前たけふ駅周辺の適正な開発の誘導
- ・
- ・
- ・

2. 交通ネットワークの方針

多様なニーズに順応した交通ネットワークの形成

- ・将来都市像と道路網の整合（重点検討項目4）
- ・都市計画道路の見直し方針
- ・国道417号、国道365号等の広域的な交流を促進する幹線道路の整備
- ・（都）豊線等の地域間の連携や移動性を確保する道路の整備
- ・越前たけふ駅からの多様な移動ニーズに対応した観光二次交通や越前たけふ駅と武生駅や福武線たけふ新駅を結ぶ地域二次交通
- ・安定的かつ継続的に運行できる地域交通（令和5年度に嶺北地域公共交通計画を策定予定）
- ・
- ・
- ・



3. 公園及び緑地の整備方針

レクリエーション機能や環境保全、防災機能等を有する緑の継承

- ・既存の公園・緑地の再整備、適切な維持管理
- ・
- ・
- ・

4. 上下水道整備の方針

安全で安心な水の安定供給及び良好な水環境の継承

- ・災害時においても安定供給できる体制の維持
- ・水道管や浄水場等の耐震化を踏まえた計画的な老朽化対策
- ・管路や処理施設の計画的な老朽化対策
- ・
- ・
- ・

5. 景観形成の方針

越前市らしい風景の継承とまちの変化に順応した景観の形成

- ・美しい自然や伝統的まちなみ等の地域固有の風景の保全
- ・越前たけふ駅周辺の景観の形成（岩内山からの展望に配慮した景観形成）
- ・
- ・
- ・



6. 安全安心まちづくりの方針

激甚化、頻発化する自然災害等に順応した安全、安心な生活の確保

- ・土地利用方針と都市防災の整合（重点検討項目3）
- ・防火・準防火地域の指定方針の検討
- ・風水害、火災、土砂災害、雪害、震災等の総合的な防災対策の推進
- ・
- ・
- ・

7. 環境負荷軽減の方針

地球温暖化による気候変動に順応した脱炭素の実現

- ・武生中央公園のゼロカーボンセントラルパーク
- ・公共施設での太陽光発電による電力の活用
- ・吉野瀬川ダムでの水力発電
- ・
- ・
- ・

地域特性を活かしたまちづくりの方針として
地域別構想に反映

